

Sustainable Report No.119

ウッドショックから考える環境価値

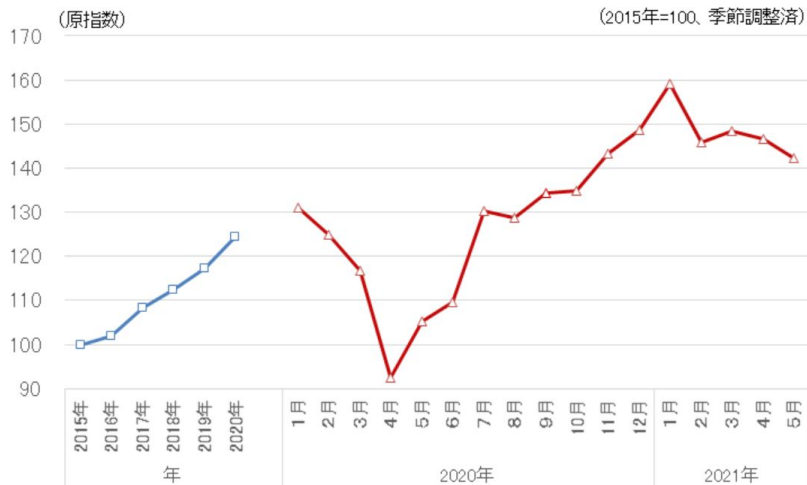


Satisfactory

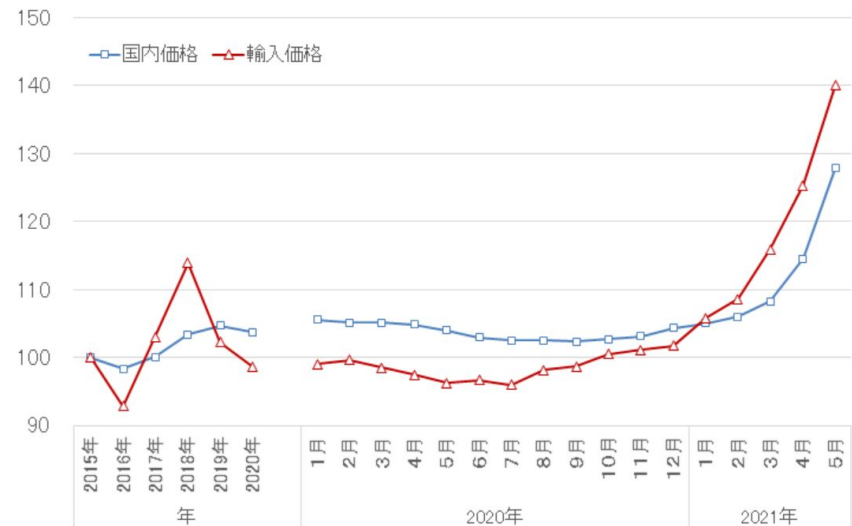
■ 経緯

- 日本は木材需要の7割を案かな輸入に頼り、**国内森林の老化によって二酸化炭素吸収量の減少**を招いている
- 新型コロナウイルス拡大に伴う在宅需要が高まり、**住宅建築件数＝木材需要が増加**
- 輸入元であるアメリカでの消費増に伴い、**国産材の価格は3割増加**(2021年値2015年比)

■ アメリカ住宅建築許可件数



■ 国内外の製材価格の推移(2015年=100)



出典: 経済産業省・経済解析室ひと言解説集「新型コロナがもたらす供給制約;ウッドショックの影響」

国産材への切替に見る林業の課題とは

■ 国産材の増産を阻む事情

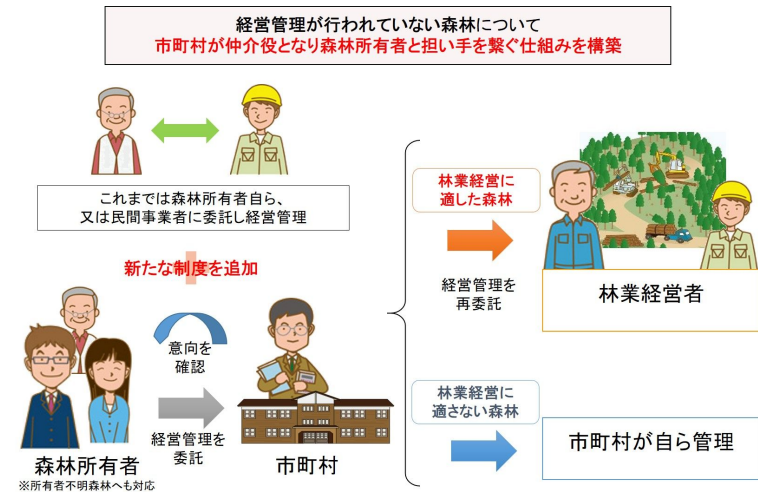
- **国産材の供給**に期待が集まるが、もとより自給率が低く**急激に増やすことは困難**
- **林業従事者は年々減少**、且つ高齡化が深刻化している
- 農林水産省は、**林業の若年者率(35歳未満)改善**を図っている
- 若年者率は平成2年以降に微増が続いたが、平成27年値で全産業平均24%までまだ7%不足する

■ 林業従事者数の推移



出典:総務省「国勢調査」

■ 2011年の森林法改正



出典:林野庁「森林整備部森林利用課」作成

■ 展望






- 林業に若年者層を取り込む一要素として、収入面の改善、つまり**新しい収益源が必要**となる
- 輸入木材と国産材の価格の溝を埋める、**脱炭素に関わる継続的な事業化**が望まれる
- **森林再生で二酸化炭素吸収量を増加**させ、**クレジット売却益**を得られる将来を見据える

■ カーボンプライシングの主な種類

	仕組み	立場
炭素税	二酸化炭素(CO ₂)排出量に応じて化石燃料に課税	環境省が導入を模索
排出量取引	企業ごとに排出上限を設け、超過分と余った枠を売買	
証明書取引	二酸化炭素(CO ₂)を排出しない電力であることを示す証明書を売買	経済産業省が拡充に前向き
国境炭素税	脱炭素に消極的な国からの輸入品に課税	欧米に導入の動き

出典：西日本新聞、2021年2月28日

■ 主要排出国の首脳らが表明したGHGの削減目標

	日本 	EU 	中国 	インド 	米国  トランプ大統領 バイデン候補
2020					パリ協定 離脱
30	↓ 13年比 26%減	↓ 1990年比 少なくとも 55%減	↓ 排出を減 少に転じ させる	↓ GDP当 たりに 05年 比33~ 35%減	↓ 35年までに 電力部門の 排出ゼロ
40	↓	↓	↓		↓
50	↓ 実質ゼロ	↓ 実質ゼロ			↓ 国全体で 実質ゼロ
60 (年)			↓ 実質ゼロ		

出典：毎日新聞、2020年10月27日

■ 参照・引用資料

- 経済産業省,「タイトル新型コロナがもたらす供給制約:ウッドショックの影響」,2021年10月26日
(https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/minikaisetsu/hitokoto_kako/20210719hitokoto.html)
- 林野庁,「林業労働力の動向」(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/routai/koyou/01.html>)
- 林野庁,「森林経営管理制度」(<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeikanriseido.html>)
- 日本経済新聞,「炭素価格とは 排出削減の動機づけに」,2021年1月26日 (<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODL2614I0W1A120C2000000/>)
- 毎日新聞,「脱炭素、やっと宣言 パリ協定、孤立回避」,2020年10月27日 (<https://mainichi.jp/articles/20201027/ddm/002/040/060000c>)
- 西日本新聞,「脱炭素、手法巡り温度差 カーボンプライシング 環境省と経産省」,2021年2月28日 (<https://www.nishinippon.co.jp/item/o/699603/>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先: info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『KIZUNA ESD』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは? —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中